歯科だより

「唇歯輔車(しんしほしゃ)」とは、お互いに影響しあう関係のことを表すことばです。「唇 歯」は文字通りくちびると歯を、「輔車」は頬骨と下あごの骨のことを指します。近年、歯周病 と糖尿病の深い関係が明らかになってきました。歯周病で歯肉に炎症があると、その炎症に より血糖値のコントロールが阻害され糖尿病を悪化させる可能性があります。また、糖尿病 で高血糖状態が続くと、体の防御反応が低下して歯周病が進行しやすくなります。まさに両 者は影響しあう「唇歯輔車」の関係なのです。むし歯で歯が欠けている所には食べかすや歯垢 が溜り、口臭の原因にもなりますし、歯石が付いている所は表面がざらざらしているため、歯 磨きをしてもなかなか歯垢がとれなかったり、歯肉の炎症がおきたりします。

また、高血圧で血圧のお薬を飲まれている方の中には、だ液量が減少し口腔粘膜の抵抗が弱 まることから歯肉が腫れやすくなる方もいらっしゃいます。

いずれにしろ、歯やお口の手入れが病気をコントロールする大切な役割をしますので、家庭 では普段から丁寧な歯磨きや口腔ケアを心がけ、定期的な歯科受診をお勧めします。

口腔がん検診を受けましょう!

今年度も佐井村では「口腔がん検診」を無料で実施してお ります。

昨年度まで各ご家庭に配布しておりました「口腔がん検診 無料受診券」は佐井歯科診療所にありますので、検診を希望 される方は電話か窓口で予約をしてください。歯科受診の際 に希望される方は、歯科窓口でお気軽にお声掛けください。



歯周病がある人は糖尿病の 治療が困難になりやすい

血管が脆くなる

血液のめぐりが 悪くなる

身体の抵抗力が 弱くなる

歯周病菌に 感染しやすくなる 「糖尿病」と「歯周病」 負のスパイラル

> 歯周病治療で 負のスパイラルを 断ち切ろう!



糖尿病がある人は歯周病に なりやすく重症化しやすい

インスリンの 効き目が悪くなる

> 血液中の TNF-αが増加

歯周病菌の 内毒素や炎症に 関わる物質の増加

